

## ホーグ LNG 社 インドネシア FSRU 用タワーヨーク型係留設備 受注

2012 年 12 月 17 日

当社の米国子会社 SOFEC, Inc.社（以下「SOFEC 社」）は Höegh LNG Ltd.社（本社 バミューダ、以下「ホーグ LNG 社」）から FSRU（Floating Storage and Regasification Unit：洋上液化天然ガス受入・貯蔵・再ガス化設備）に係るタワーヨーク型係留設備の設計、資機材調達および建造工事を受注しました。

本タワーヨーク型係留設備はホーグ LNG 社の FSRU に搭載された後、ホーグ LNG 社は FSRU を PT Perusahaan Gas Negara（インドネシアガス公社）の洋上液化天然ガス受入基地プロジェクト（スマトラ島南東部沖合い 20km 水深 23m）に投入される予定です。FSRU は横付けされた液化天然ガス運搬船から液化天然ガスを受入れ、貯蔵、再ガス化した後、陸上に繋がる海底パイプラインに天然ガスを送り出します。

ホーグ LNG 社は FSRU の分野で世界有数の企業です。今後インドネシアを始めとして世界各地で FSRU の需要が見込まれており、今回 SOFEC 社のタワーヨーク型係留設備の高い技術力、豊富な実績が認められたことで、今後ホーグ LNG 社との取組み拡大が期待されます。SOFEC 社にとって、本プロジェクトは 5 基目のタワーヨーク型係留設備の受注となります。



（イメージ図：タワーヨーク型係留設備は図中右の海面上に出ている構造物）

### 【SOFEC 社】

1972 年に各種係留設備の設計、資機材調達および建造を目的として設立。係留設備の業界リーダーとして、これまで合計 110 基以上の係留設備を建造し、世界に送り出してきました。

問い合わせ先

三井海洋開発株式会社 総務部 山下（電話 03-5290-1200）